

『下痢は腸の洗浄です』

一般的に、病院や診療所は冬になると夏場よりもずっと混雑します。寒くなつて体力が落ちやすく、風邪やインフルエンザといったウイルスや細菌による感染症が広がりやすくなるからです。

そして、もう一つ広がりやすい病気があります。それは「下痢」です。せきや熱による症状の風邪も一日が憂うつですが、トイレから離れられなくなるほどの下痢や吐き気は、誰であつてもつらいものです。

さて、下痢はどうして起こるのでしょうか？ ウイルスや細菌、時には刺激の強い食べ物や口から入つて、胃を通り、腸にたどり着きます。その時に、腸にとつてありがたいか、腸に含まれていると、腸は何とかしてそれを体から出そうとします。

腸は管になっています。もし、管の中が汚れてしまつたら、どうすれば早くきれいになるでしょうか？ そうです、水で洗い流せば簡単です。体が水を使って、腸内の有害な異物を洗い流している、それが下痢になります。また、大量の水が流れるときに腸の壁自体も水を含んでむくんでしまい、腸の動きが悪くなる



ため、吐き気の症状も出やすくなります。水分が抜けてしまうと体力を消耗するため、その後はしっかりと水分をとることが必要です。

【病院便り】 多古中央病院は紹介状が無くても受診することができますが、ほかの医療機関で治療を受けている方は、詳しい医療情報を提供していただくとスムーズに診療が進められます。

また、病院には検査の機械がありますが、夜間や週末は検査技師など医療スタッフが不在のため動いておらず、その時間帯は十分な検査はできません。体調が悪いと感じたら、夜遅くではなく、お日様が高いうちに受診していただければ、より良い体制で診療を受けられます。

子どもの下痢がうつってしまったわ。石けんでしっかり手洗いをしないと、こんなにすぐにうつるのね。



追跡レポート! ———— この職業・この人たちの24時間



パソコンのことはお任せください！ アドバンネットの一日 (パソコンサポーター)

紹介者：岩堀雄次さん(本町)

わたしとパソコンとの出会いは、経営していた飲食店のメニューをパソコンで作ったことがきっかけでした。その後、友人などからの相談を受けるうちに経験や知識が増え、パソコンブームや世の中のIT化とも重なり、趣味が仕事になりました。

現在の業務内容はパソコンスクール、ホームページ制作、インターネット広告、大判ポスター印刷、パソコンの販売・修理など、パソコンに関することは全般に対応しています。「パソコンが動かない」「ウイルスに感染した」「データが無くなった」など相談の内容はさまざま、必要な場合には出張による対応もしています。お客様に喜んでいただいたり、感謝の言葉をいただいたときは、

やりがいと喜びを感じます。またパソコンを仕事で使うお客様も多く、修理のスピードには気を配り、可能な限りその日その時に解決できるよう心掛けています。



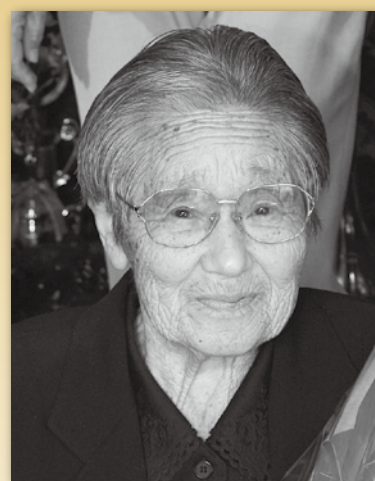
スクールの生徒は現在、小学3年生から80歳代の方までと幅広いため、一人ひとりに合わせた内容・スケジュールを組み、スタッフが丁寧に対応します。分からない場合には、気軽に質問してもらえよう配慮しています。「仕事に必要な能力を身につけたい」「資格を取得したい」「パソコンを楽しみたい」など目的は人それぞれで、パソコンが苦手という方でも、自然と使いこなせるようになります。これからの時期はオリジナル年賀状を作る方が多いようです。

営業時間は午前10時から午後7時まで、毎週木曜日が休業日です。パソコンがあっても使いこなせていない方、困っている方などは気軽にご相談ください。



取材協力：アドバンネット

満百歳おめでとうございます



平山 みつさん(林)

10月28日、今年9月にめでたく満百歳を迎えられた平山みつさん(林)に、内閣総理大臣から祝状と銀杯、町から花束などが贈られました。

平山さんは「縫い物」が得意で、今でも自分で針に糸を通すことができるほど視力が良く、身の回りのことも、ほとんど一人でこなしてしまうとのことです。

また、今は亡き実母のともさんも、生前に満百歳のお祝いを受けていることから、「親子二代での百寿」ととなりました。

贈呈に訪れた香取健康福祉センターの副センター長や町長らを笑顔で出迎えてくれた平山さん、これからもどうぞ元気にお過ごしください。



■昭和55年1月、百寿を迎えた実母のともさんと一緒に写真に納まる、当時70歳の平山さん(写真右)【広報多古・昭和55年2月号より】

俳句

文芸コーナー

短歌

湧き水に砂の躍れる草紅葉
野望などなく蓑虫の宙に浮く
蓑虫の黙し己れの身を包む
折り紙に遠き時間や秋の夜
来年の米寿の話秋の夜
行く秋や父は佛間に俵編む

師の墓石撫ずればぬくし在りし日の笑顔に語る声のきこゆる
車椅子の少女抱える秋桜の明かるさに合う夕映の道
老いてなお健やかなるを願いつつ衣更えすと衣類整理す
母と娘の夕餉の献立さだまりてつづく会話のめぐるぬくもり
夢に抱きし子の温もりをはなすまじ秋の夜長を虫ちろ鳴く
わが千せる布団に止まりひぐらしは秋の日中に命終えたり

ゴール見据えグランドゴルフの球を打つ卒寿をこえて楽しげにして

南中 飯田久よし
飯新 前橋 節子
北中 木内 慶子
水戸 鈴木やすし
喜多 瓜生 恒子
仲町 香取 省吾
切通 勝又 窓秋

南中 宮内 貞子
高野前 鈴木沙和子
南並木 飯田ふみ子
二本松 小川 辰雄
島 星野 みつ
南玉造 越川 節子
染井 佐藤 登久